

★東京アカデミー 保護者通信 Part.1

公務試験について保護者通信のご案内

公務員試験の受験に向けて学習を進める中で、様々な疑問や質問が湧いてくると思います。

ご家庭でも、受験生本人からの疑問点を共に解消したいとのことから、毎年多くの保護者の皆様より、受験に関する質問や情報提供のご希望を頂いております。そこで、受験までの間、全6回のシリーズとして、受験に関する情報を保護者通信としてお送りさせていただきますので、ご子息・ご令嬢の受験にご活用いただければ幸いです。

これが正しい学習法 学習計画の立て方

第1回目は、『これが正しい学習法』として、学習を効果的に進めていく上で、重要となる**学習計画の立て方**をご説明致します。

本試験に向けた学習計画（下記9月試験までの場合の全体計画）を立てます。

試験科目/時期	2月～3月	4月～8月末
①一般知能 (数的資料/判断空間)	基礎固め (学習時間：毎日60分～120分) 教材：基礎力養成・完成テキスト	基礎定着 (学習時間：基礎と実践あわせて毎日90～150分) 教材：オープンセサミ⑤
		実践力養成 教材：出たDATA問⑤⑥ (数的資料/判断空間)
②文章理解 (現代文/英文)	基礎固め (学習時間：毎日30分) 教材：基礎力養成・完成テキスト	基礎定着 (学習時間：基礎と実践あわせて毎日60～90分) 教材：オープンセサミ③
		実践力養成 教材：出たDATA問③ (文章理解)
③社会科学 (政治/経済/社会)	基礎固め (学習時間：週3-4日程度毎日30～60分) 教材：基礎力養成・完成テキスト	基礎定着 (学習時間：基礎と実践あわせて毎日60～90分) 教材：オープンセサミ①
		実践力養成 教材：出たDATA問① (政治/経済/社会)
④人文科学 (日本史/世界史/地理/思想等)	基礎固め (講義を中心に復習) 教材：基礎力養成・完成テキスト	基礎定着 (学習時間：出題ポイントを中心に基礎定着と実践力を合わせて週3-4日程度 1日30～60分) 教材：オープンセサミ②
		実践力養成 教材：出たDATA問② (日本史/世界史/地理)
⑤自然科学 (物理/化学/生物/地学/数学)	基礎固め (講義を中心に復習) 教材：基礎力養成・完成テキスト	基礎定着 (学習時間：出題ポイントを中心に基礎定着と実践力を合わせて週3-4日程度 1日30～60分) 教材：オープンセサミ④
		実践力養成 教材：出たDATA問④ (数学/理科)

クラブ活動や学校行事、社会人の方は仕事や家庭との両立など、受験生それぞれの学習環境によって、学習時間や学習優先順位の科目は異なってきます。みなさんの個別での学習スケジュールの立て方は、お気軽に事務局へご相談ください。

勉強の合間を縫って『職種研究』を実施しましょう。

「職種研究」とは・・・受験先のビジョンを明確にする為の作業

受験生が公務員試験の情報収集の際に多くの時間を費やす内容。それは試験の倍率や試験日程、試験内容など実際の試験を攻略する為の知識です。勿論これらの情報は非常に大切です。しかし、東京アカデミーの推奨する「**職種研究**」は情報収集の一つではありますが、その収集内容は先述した内容とは異なります。

漠然としたイメージで「市役所で働きたい」、「警察官になって街を守りたい」、「消防官になって火災から人々を守りたい」という、動機で受験に臨まれる方も少なからずおられることでしょう。しかし、漠然としたイメージでは、何れモチベーションの維持は困難となるでしょう。大成するスポーツマンや著名人は、みな様に将来自分が到達すべきゴールのビジョンを明確に持たれているそうです。公務員受験も同じです。どんな警察官になるのか。消防官として将来どんな活躍をしているのか。このイメージを具体的に持つことこそが、最高のモチベーションを生み出すのです。

イメージを具体化させる為には、しっかりと仕事内容を研究する必要があります。しかしそれは決して難しい研究ではありません。「テレビドラマでよく出てくる、鑑識って面白そうな仕事だけど、警察のどの部署の仕事なのかな。」

「最近、災害が多いから自分は消防官になりたい。災害現場で活躍しているレスキュー隊ってどうやったらなれるのかな。」

「自分の住んでいる有田市には、有田みかん課というのがある。ここで働いてみたいな。」

このように、むしろ自分のなりたい職種、やりたい仕事を探すことは楽しい作業と言えるでしょう。

自分のなりたい公務員試験の知識を深め、イメージを具体化させていくことが受験勉強開始の第一歩となります。

以上から、「職種研究」を楽しく進めることで、まずはモチベーションを最高の状態に持っていきましょう。

受験先の試験の傾向を知ること大切です。

公務員試験は出題科目が多岐にわたりますが、出題数が多い重要な科目や出題内容に傾向があり、正しく理解することで勉強をスムーズに進めることができます。そしてその出題内容は、受験先によって更に出題されやすい分野の傾向があります。

筆記試験となる教養試験の全体の傾向を掴むことも重要ですが、まずはご自身が目指す、受験先については細かな傾向を知っておくことで、傾向に即した勉強を進めることができます。また希望する受験先の問題の傾向が理解できれば、学習効果を実感でき、「これなら合格できそうだ」という気持ちが芽生え、やはりモチベーションの維持が期待できることでしょう。

【職種別による科目ごとの出題内容の傾向例】

	地方初級	警視庁警察官	東京消防庁消防官(全国)
数的推理 【出題頻度上位3分野】 過去5年のデータより	方程式	図形の計量	割合
	整数	確率	確率
	速さ	方程式	整数

	地方初級	警視庁警察官	東京消防庁消防官(全国)
判断推理 【出題頻度上位3分野】 過去5年のデータより	対応関係	順序関係	対応関係
	位置関係	集合	位置関係
	論理	位置関係	試合

前述のように、受験先によって出題内容の傾向が少しずつ異なります。例えば大阪府警では人文科学（日本史、世界史、地理）や自然科学系（物理、化学、生物、地学）が出題されないなど、出題内容自体が他の試験と異なる場合もあります。

受験先ごとの出題傾向を正しく知ること、目指さず職種に合わせた勉強を効率よく進めていく材料が完成します。勉強すべき内容の傾向がわかれば、いよいよ実際の勉強（問題に触れること）に突入していきます。

上記作業には、配布しております教材『完全ナビ』をぜひご参考ください。

最重要科目「一般知能」の土台を作りましょう。

公務員試験には、出題される全科目の中でも、最重要かつ問題演習が必要な科目があります。**「一般知能」**と呼ばれる分野がこれにあたり、中でも「数的推理・資料解釈・判断推理・空間把握」は最も時間をかけて学習しておきたい科目です。

【数的推理・資料解釈・判断推理・空間把握】が全出題数に占める割合

出題数	地方初級	地方初級	警視庁警察官	東京消防庁消防官 (全国)
	(9月第3週)	(9月第4週)		
総出題数	40	50	50	45
数的推理・資料解釈	6	8	9	7
数的推理・資料解釈の出題割合	15.0%	16.0%	18.0%	15.5%
判断推理・空間把握	7	8	9	10
判断推理・空間把握の出題割合	17.5%	16.0%	18.0%	22.2%
数的推理・資料解釈・判断推理・空間 把握 合計の出題割合	32.5%	32.0%	36.0%	37.0%
他の分野が全体に占める平均出題割合	4.8%	4.8%	4.7%	4.4%

※出題分野一覧は、配布しております、【完全ナビ】をご参照ください。

上記の表でも一目瞭然ですが、公務員試験の全出題数における、各分野の出題割合が、平均4%台であるのに対し、**「数的推理・資料解釈」は15%以上、「判断推理・空間把握」16%以上**にもなります。さらに、「数的推理・資料解釈・判断推理・空間把握」合計では、なんと各分野平均の約7倍の30%台が出題されることとなります。

公務員試験の筆記試験ボーダーラインが全出題数の60%～70%とされていますので当然、この分野を得点源とできなければ、公務員試験の合格はまず、不可能となります。

言い換えれば、一般知能を得点源とできれば合格はほぼ見えてくるといっても過言ではなく、その為にも、最も多くの学習時間を割き、一般知能分野の基礎固めをしっかりとしてください。

基礎を固める為の学習方法は、非常に単純です。まず1か月間を目安として、集中的に、一般知能の問題ばかりを解くようにしてください。その際、判断推理、数的推理どちらから学習をスタートされるのかは、受験生自身の適正に合わせて頂いて結構です。

(例) 数的推理から学習を開始する方 . . .

数学が苦手な方などは、まず数的推理から始め、方程式の分野だけでもとにかく毎日解き続ける。

(例) 判断推理から学習を開始する方 . . .

まず多くの方は、クイズ的な要素の高い判断推理から始めて頂くと、公務員勉強のコツやペースを掴みやすいでしょう。また消防を目指す方も判断推理の出題が多いので勉強を始めやすいと言えます。

初学者の場合は、いろいろな科目に目移りすることもあるでしょう。しかし始めは、上記一般知能の問題だけに集中して、ここを徹底的に繰り返してみましよう。(場合によっては、数的推理・判断推理だけでも良いです)

公務員試験の基礎(土台)を固める為の修行期間と考えてください。(スポーツ選手でも、高い技術を身につける為には、相応の基礎体力が必要であり、実践練習の前に、まずは走り込みを続けたり、筋力トレーニングを行って、基礎の土台を形成していく過程と何ら変わりありません。)

この一般知能という土台を1か月間で作り上げることができれば、大きな自信に繋がることでしょう。その後の、過去問題期間などの実践練習に突入しても必ず、この土台と自信は大きな力となります。

大きな自信は、例え、辛い受験勉強時期が訪れても、必ずやその期間を乗り切る答えをくれることでしょう。

※ご案内した学習スケジュールは、数ある効果的学習方法の一つです。その為、ご自身に合う学習方法に悩んでいる受講生の方は、ぜひ事務局へご相談にお越しく下さい。